

地理院地図の防災などでの活用方法を学べます！

～午前の部で地理院地図の使い方を紹介～

概要

- 午前の部では、防災に役立つ地理院地図（※）の機能やコンテンツを解説します！
地理院地図の開発と防災行政に携わってきた国土地理院情報普及課長・佐藤壮紀が、初心者でも分かるように易しく解説いたしますので、どなたでも60分の講演を通して地理院地図の使い方をマスターできます！防災での使い方が分かれば他の分野への応用も簡単です！
- 地理院地図の操作画面をお見せしながら解説いたしますので、パソコン・スマートフォン等のインターネットにつながる端末をお持ちであれば、その場で操作をお試しいただけます。
- 当日は地理院地図の使い方の資料を配布いたしますので、職場や家に持ち帰って地理院地図の操作方法を復習いただけます。

（※）地理院地図は、国土地理院が整備する地形図や写真のほか、地形や災害リスクなどの防災に役立つ情報を、パソコンやスマートフォンのウェブブラウザで無償で利用できるウェブ地図です。



地理院地図のURL

<https://maps.gsi.go.jp/>



地図



写真



明治期の低湿地



指定緊急避難場所



災害時の写真や判読図

～午前の部で解説する地理院地図の機能やコンテンツの一部を以下にご紹介～

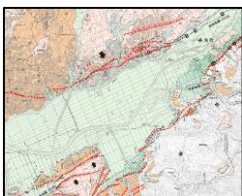
災害リスクの把握

（1）災害リスクが分かる地図を表示できる

土地の成り立ちや性質が分かる地図を見ることができます。これらの情報を確認することでその土地の災害に対する脆弱性を把握することができ、災害対策の検討に役立ちます。

【地震関連】

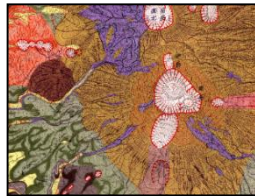
活断層図



活断層と地形分類を示した地図

【火山関連】

火山土地条件図



過去の噴出物の分布や防災関連施設などを示した地図

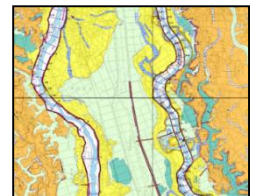
【水害関連】

土地条件図



山地・丘陵、台地・段丘、低地水部、人工地形等の地形分類を示した地図

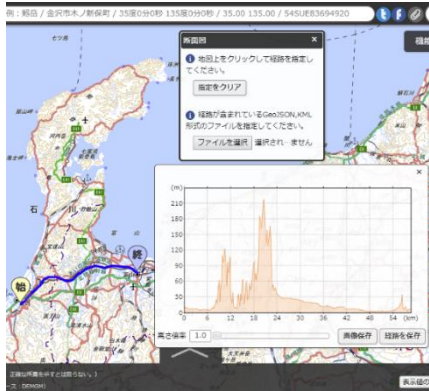
治水地形分類図



扇状地、自然堤防、旧河道などの詳細な地形分類を示した地図

(2) 周辺の土地の高低を把握できる

任意の経路で地形断面図を作れます。また、標高値で色分けした地図を、自分で設定した色で作成できます。洪水や津波等の災害対策の検討に役立ちます。



断面図



標高値で色分けした地図

被災状況の把握

(1) 被災状況が分かる写真や各種情報を表示できる

(例) 平成30年7月豪雨で地理院地図から提供した情報

空中写真



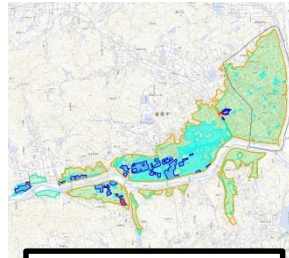
岡山県倉敷市真備町

推定浸水深



岡山県倉敷市真備町

浸水範囲の変化



岡山県倉敷市真備町

崩壊地



広島県坂町

(2) 被災前後の写真を比較できる

地図や写真を2画面にして2つの情報を比較表示することができます。被災前後の写真を比較することで被災状況の把握に役立ちます。



岡山県倉敷市真備町



北海道厚真町吉野